

# 大学のデジタル教材 活用実験開始 — 大学と出版社協同による我が国初の試み —

大学学習資源コンソーシアム(以下, CLR)\*は, 大学の教員が, 学術書や専門書に掲載の写真やイラスト等を再利用して自作したデジタル教材による教育・学習効果を測る実験を始めました。

CLRの主要活動テーマである「教育・学習における著作物利用モデルの策定」の一環として進めるもので, メンバーである東京大学が中心となり, 複数の出版社の協力を得て取り組む我が国初の試みです。

## ■背景

大学の授業では, 教員自らプレゼンテーションソフト等で作成したデジタル教材を用いる傾向が強まっています。ただし, その内容は必ずしも教員オリジナル執筆ではなく, 学術・専門書に掲載の写真やイラスト等の図表類を再利用するケースが多く見受けられます。この場合, 著作権の権利制限規定に該当するか不安を感じつつも利用したり, 出版社等の許諾が必要な場合には, 手続きに多大な労力と時間を要することから教員は図表利用を諦めているのが現状です。

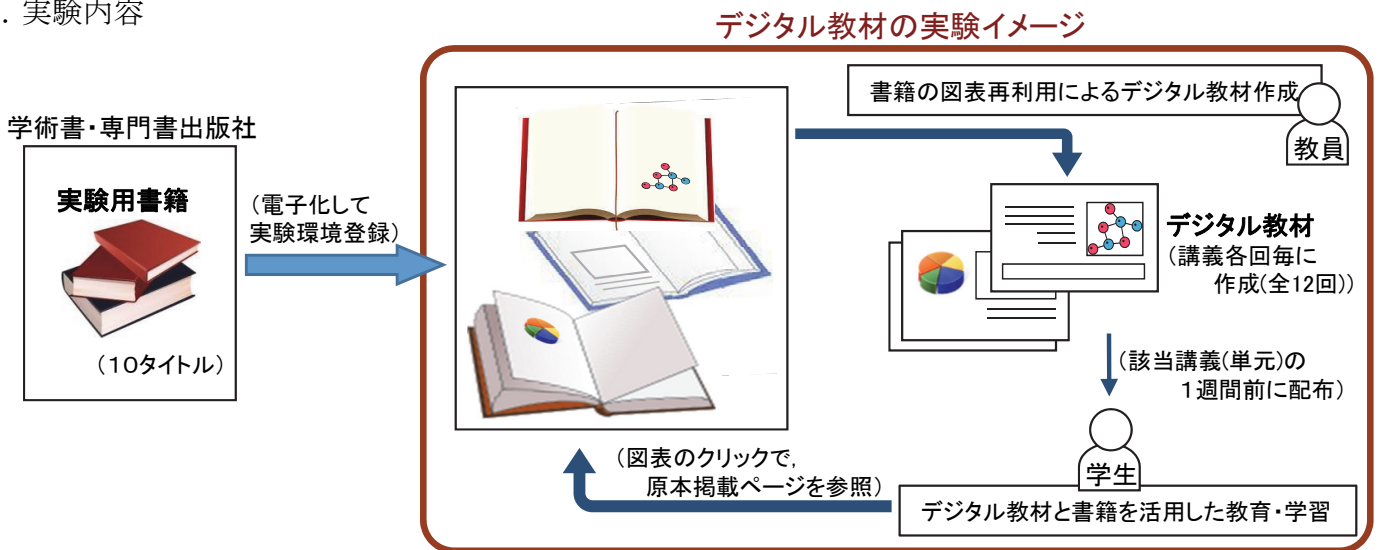
今回の実験は, 教育・学習の質の向上はもとよりコンプライアンス面の課題解決も含め, 図表類再利用に関して, 大学と出版社間における新しい権利処理モデルの構築を目指した国内初の取り組みです。

## ■実験の概要

### 1. 参画機関

- [CLR] 東京大学 (大学院情報学環 DNP講座) …… 企画, 運営統括  
名古屋大学 (教養教育院 山里敬也教授) …… 実験担当 (実際の開講講座にて実施)
- [協力機関] 京セラ コミュニケーションシステム(株) …… 実験用システム提供  
(株) コロナ社, 森北出版(株) …… 実験用書籍提供 (計10タイトル)

### 2. 実験内容



個々の学生において, 原本参照に関わる下記データを取得, これらデータ群と講義の理解度や知識定着率の相関について, 定期試験や授業アンケート, 課題ノート等で検証する。

#### 【主な取得データ項目(予定)】

- ・参照のため選択された図表 …… 教材中のどの図表を選択(クリック)したか
- ・参照(予習・復習)時期 …… 原本をいつ参照しているか(授業前, 授業中, 授業後)
- ・参照の部位 …… 原本中, 図表解説に関わるどの部分を読んでいるか
- ・参照回数・時間 …… 原本の解説をどの程度時間をかけて学習しているか など

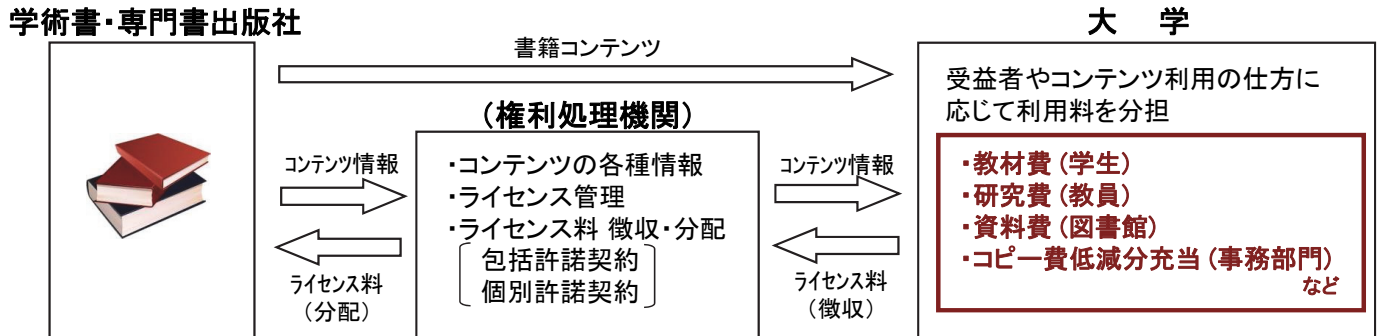
### 3. 実験期間

[第1期] 2016年度後期 (2016年10月～2017年2月)

[第2期] 2017年度後期 (2017年10月～2018年2月)

#### ■CLRが目指す権利処理モデル(一例)

今回の実験により相応の教育・学習効果が確認できた場合、大学側が下図のようなライセンス料を払うモデルを出版社と協議する予定です。



#### ■今後の実験計画

教員自作のデジタル教材は、大別して「人文社会系」、「理工系」、「医歯薬・看護系」の3分野で大よその傾向の違いが見受けられます。特に今回の実験のポイントとした図表類再利用に関しては、利用頻度や量、教材の編集形態に大きな差異があることから、今後3分野に分けてさらに内容を充実させた実証実験を行う予定です。

#### \*大学学習資源コンソーシアム(CLR)について

大学関係者が、教育・学習における電子的学習資源の製作および共有化を促進させる体制の構築と著作物の円滑な利用環境を整備し、我が国の高等教育・学術研究の発展に寄与することを目的としています。

2017年2月1日現在で20大学が加盟しています。詳細は <http://clr.jp/> をご参照ください。

#### ■本件に関するお問い合わせ先

大学学習資源コンソーシアム(CLR) 商用学術コンテンツ ワーキング・グループ

・住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 大学院情報学環 DNP講座

・電話 : 03-5841-0377

・E-mail : yanagi@iii.u-tokyo.ac.jp